八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 09 2001

「台風の威力すごいぞ」号

夏休みが無事に終わるかと思っていたところ、台風 11 号の接近によって海は大シケ、風はビュービュー、船や飛行機の欠航もでて、多くの方がビジターセンターに遊びに来てくれました。台風 11 号は動きが遅かったため長い間、西側の南原千畳岩海岸には大きなうねりが当たり、ものすごい光景が続きました。今年は 9 月以降にも台風の被害が出そうですね。今月はその台風のお話を中心にしました。

夏休み特別プログラム無事終了

8 月 26 日の夏休みクラフト教室で、すべての夏休み特別プログラムが無事終了しました。参加者の多かったもの少なかったものいろいろありましたが、何事もなく無事に終わってホッとしています。

7 月 22 日と 8 月 5 日に行われた潮だまり探検隊は、干潮と満潮の差でできる潮だまり（タイドプール）でいろいろな生物を捕まえて観察するプログラム、参加者の親たちはみんな童心に戻り、子供よりも真剣に生き物を採集していました。最後には小さな魚はもちろん、ナマコや貝、ウミウシ、ウニ、エビ・カニからイソギンチャクまでいろいろな種類の生き物を見つけて観察することができました。

7 月 29 日と 8 月 12 日に行われた三原山縦断トレッキング、別名「東山」と呼ばれる三原山を縦断するかなりハードなトレッキングコースでした。両日とも前日までの雨で心配された天気も回復し、晴れて暑いほどの気温になりました。はじめは参加者皆元気いっぱいでしたが、後半はやはりみなさんお疲れのようでした。

「夜の森を歩こう」では、残念ながら自然状態での発光キノコは見られませんでしたが、落ち葉についていた菌糸が光っているのを見ることができました。

「夜の虫観察会」では、空梅雨のためか観察できた昆虫の種類は少なかったものの、植物公園内でハチジョウネブトクワガタが出てきたのにはビックリさせられました。

ウミウシスライドショウにも 70 名とたくさんの参加者があり、ウミウシ人気のすごさを改めて感じました。

夏休み最後の行事「クラフト教室」では、島の火山灰を使った火山灰アートが行われました。赤、白、黒の火山灰と木工ボンドを使って、みんなそれぞれ好きな絵を描いていました。

アカコッコとは日本の固有のツグミ科の鳥で国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

台風ってなに？

熱帯地方の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びます。このうち発達して中心付近の最大風速がおよそ 17m/s（風力８、秒速 35 ノット）以上になったものを「台風」と呼びます。台風とは北西太平洋（日付変更線より西）での呼び方で、大西洋・北東太平洋（日付変更線より東）・南東太平洋（東経１６０度より東）では「ハリケーン」、南西太平洋（東経１６０度より西）・南東インド洋（東経９０度より西）では「サイクロン」と呼ばれます。台風は中国語の颱風に由来し、ハリケーンはアメリカ先住民タイノス族の「Ｈｕｒａｃａｎ」（怒れる神）から、サイクロンはギリシャ語でとぐろを巻いた蛇の意味だそうです。

台風の進路

八丈島は「台風の通り道」と言われ、昔から台風の襲来でかなりの被害を受けてきました。島を通る頃はまだ発達期や最盛期で勢力も強いことから大きな被害がでます。

右の図（図１）は台風の発生場所と主な経路です。しかし、夏の台風は迷走すると言われるように考え通りにいかないことが多いようです。ここ何年かは、このような進路ではなくなってきている感じがします。

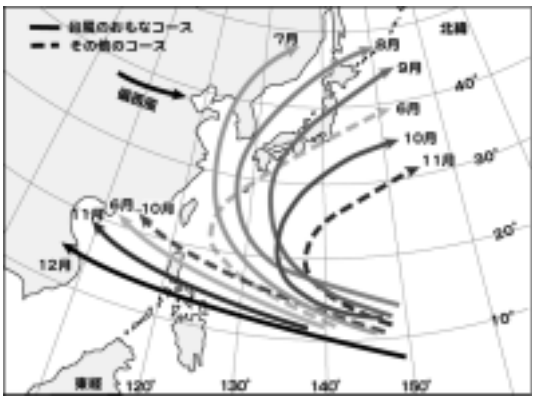

図 1

今年は 8 月までに 13 個の台風が発生しています。一年間の発生数の平均は 27.8 個、まだまだこれから発生する台風はありそうです。右の図（図２）は今年発生した 11 号までの進路図です。今のところ先日通過した 11 号以外は関東地方に近づいているものはありません。しかし八丈島では、沖縄や小笠原付近の台風から大きなうねりが入ってきます。台風が近づくだけではなく、間接的な影響もかなりあります。

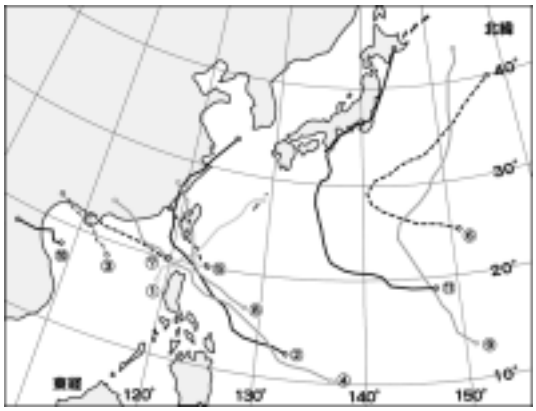

図 2

台風の名前

毎年１月１日以後，最も早く発生した台風を第１号とし，以後台風の発生順に番号を付けています。また、北西太平洋領域に発生する台風の呼名として、１９９９年までは米国が英語名をつけていましたが、これに代わり２０００年１月１日からアジア名を用いることとなりました。名前はすでにリスト化されていて、年に関係なく台風ができた順にその名前が当てられていきます。

台風	発生日	名前	名前の由来
1号	5月11日	Cimaton (シマロン)	野生の牛（フィリピン）
2号	6月20日	Chebi (チェービー)	ツバメ（燕）（韓国）
3号	6月30日	Durian (ドリアン)	果物の名前（タイ）
4号	7月2日	Utor (ウトア)	スコールライン（米国）
5号	7月10日	Trami (チャーミー)	花の名前（ベトナム）
6号	7月22日	Kong-rey (コンレイ)	伝説の少女の名前（カンボジア）
7号	7月24日	Yutu (イートゥー)	民話のうさぎ（中国）
8号	7月27日	Toraji (トラジー)	人知れず咲く美しい花（朝鮮民主主義人民共和国）
9号	8月2日	Man-yi (マンニィ)	海峡の名前（香港）
10号	8月10日	Usagi (ウサギ)	うさぎ座（日本）
11号	8月14日	Pabuk (パブーク)	大きな淡水魚（ラオス）
12号	8月27日	Wutio (ウーティップ)	蝶（マカオ）
13号	8月28日	Sepat (セーパット)	淡水魚の名前（マレーシア）

13 号の後の名前は順に
Fitow・フィートウ花の名前・ミクロネシア)、
Danas・ダナス（経験すること・フィリピン)、
Nari・ナーリー（花・韓国)、
Vipa・ヴィーパ（女性の名前・タイ)、
Francisco・フランシスコ（男性の名前・米国)、
Lekima・レキマー（果物の名前・ベトナム)・・・・
と順に付けられます。

八丈島の台風被害

瞬間最大風速が 30 ｍを越えると被害が拡大すると言われています。下の表は被害の大きかった台風の一覧です。かなり昔のものは被害状況などは、はっきりしていません。その中でも昭和 50 年の台風 13 号と平成 7 年の台風 12 号の勢力が強く、被害が大きかったようです。

西暦	年号	日付	台風	被害
1938	昭和13	9.23		最大瞬間風速60m以上、死者1名・行方不明12名
1943	昭和18	10.3		
1948	昭和23	9.16		
1949	昭和24	11.23		
1955	昭和30	10.11	25	
1958	昭和33	9.17	21	
1961	昭和36	10.8	24	最大瞬間風速60m以上
1962	昭和37	11.16	28	強風12時間、降雨55時間
1963	昭和38	10.2	19	
1965	昭和40	9.21～25	26	25日一時間最大降水量89.3mm
1965	昭和40	10.3	28	
1966	昭和41	6.28	4	最大瞬間風速46.8m
1966	昭和41	9.24	24	
1967	昭和42	9.14	22	全半壊66戸
1967	昭和42	10.27	34	最大瞬間風速31.5m
1968	昭和43	9.23	19	一日3881mmの降水量
1975	昭和50	10.5	13	最大瞬間風速67.8m
1979	昭和54	10.19	20	藍ケ江港防潮堤破壊、塩害
1980	昭和55	10.14	19	瞬間最大風速46.4m
1982	昭和57	10.8	21	最大瞬間風速49.3m
1987	昭和62	9.16	13	最大瞬間風速41.0m、二十四時間降水量390mm
1988	昭和63	9.16	18	最大瞬間風速33.0m
1988	昭和63	10.8	24	最大瞬間風速47.8m
1990	平成 2	8.4	10	最大瞬間風速39.2m
1991	平成 3	9.9	15	最大瞬間風速51.9m
1992	平成 4	6.29～7.1	3	最大瞬間風速45.3m
1992	平成 4	11.6～8	28	最大瞬間風速41.2m
1995	平成 7	9.17	12	最大瞬間風速48.0m（三原山頂で67.3m）、16億円の被害
1996	平成 8	9.22	17	被害1億2千万を越す、最大瞬間風速51.5m
2000	平成12	7.7	3	最大瞬間風速49.3m

1975 年（昭和 50 年）台風 13 号

この台風は 15 時過ぎから暴風圏内に入り、16 時半には八丈島測候所史上最大である最大瞬間風速 67.8 ｍの南風を観測しました。雨量は 25.5mm と少なかったのですが、塩風害がひどく八丈富士の頂上付近まで樹木が枯死したほどです。罹災世帯 2175 世帯、罹災者 6771 名、家屋の損壊 2403 棟、農業施設、商業被害など総額五十五億四千三百八万二千円の大災害となったようです。また、人的被害も重傷 3 名、軽傷 83 名にもおよんでいました。

1995 年（平成 7 年）台風 12 号

この台風は関東地方に接近した台風としては戦後最大級の超大型で非常に強い台風でした。島の西側を通ったため島への被害も大きいものとなりました。

17 日には八丈島測候所で 932.4 ヘクトパスカルの最低気圧を記録しました。（それまでは昭和 50 年、台風 13 号の 947 ヘクトパスカルが最低気圧）最大瞬間風速は 48.0 ｍでしたが、10 ｍ以上の強風が 4 時間以上も吹き荒れるなど被害が広がる原因でした。三原山頂付近の鉄塔で観測している都防災行政無線システムで最大瞬間風速 67.3 ｍを記録しています。

中之郷地区の藍ヶ江港ではカヌーと漁船遭わせて 7 隻が跡形もなく流され、樫立地区では乙千代ヶ浜へ降りる道が崩落するなど、16 億円の被害が生じました。植物公園でも温室のガラス 70 枚が割れる被害がでました。

1997 年 7 月 台風からのうねり

2001 年 11 号台風からのうねり

参考資料

ぼくらの天文・気象・地球 / 台風をとらえる	岩崎書店
南海タイムス	南海タイムス社
八丈島誌	東京都八丈町役場
気象庁ホームページ	http://www.kishou.go.jp/

2001 9 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 03：33 09：59 16：35 22：24						1 ガイドウォーク 03：39 10：23 17：18 22：48
2 ガイドウォーク 04：17 10：55 17：40 23：14	○ 3 04：52 11：24 18：01 23：40	4 05：26 11：53 18：22	5 06：01 00：08 18：44 12：21	6 06：37 00：38 19：05 12：49	7 白露 07：15 01：09 19：27 13：16	8 ガイドウォーク 07：56 01：44 19：49 13：44
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 08：45 02：24 20：12 14：14	10 09：55 03：13 20：39 14：49	◑ 11 11：58 04：22 21：20 15：47	12 14：22 05：55 23：11 18：46	13 15：21 07：25 20：45	14 01：23 08：34 15：59 21：32	15 ガイドウォーク 02：39 09：29 16：32 22：08
16 ガイドウォーク 03：38 10：15 17：03 22：44	● 17 04：30 10：58 17：32 23：19	18 05：18 11：37 17：59 23：54	19 06：06 12：13 18：25	20 06：53 00：30 18：49 12：47	21 07：41 01：08 19：11 13：19	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「鴨川秋季観察会」 08：33 01：47 19：34 13：49
23 秋分 ガイドウォーク 09：35 02：31 19：57 14：18	◐ 24 ガイドウォーク 11：12 03：24 20：22 14：54	25 13：44 04：38 20：57 16：36	26 14：55 06：20 23：56 20：32	27 15：27 07：46 21：12	28 01：51 08：43 15：52 21：37	29 ガイドウォーク 02：50 09：24 16：14 22：01

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう。
9／9 （13：30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座「鴨川秋季観察会」

八丈島をもっとよく知るための講座。今回は「鴨川秋季観察会」です。
9／22 （13：30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ 八丈・四季・人・自然
14：00～ 八丈・四季・人・自然
15：00～ 八丈・四季・人・自然
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2001.9.1 第4号
開館時間 9：00～16：30 年中無休（無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888